



宿泊税導入に関する町の方針

宿泊税導入に関する町の方針①

1. 定率制から段階定額制への変更について

- ・ 宿泊税の税率について、宿泊料金に対して**2%の定率制**で、検討を進めてきた。



- ・ **北海道の宿泊税**について、**定額制(一律又は段階)**での検討が明確となった。



- ・ 北海道の宿泊税導入を想定した際に、**定率制と定額制が併存**することとなるので、**事業者負担の増大は看過できない。**



- ・ **観光施策を確実に前進させる観点から、宿泊税の導入見直しや一律定額による導入は行わない。**



- ・ そのため、「**税の公平性**」といった原理原則に固執せず、**納税者や事業者の負担軽減と政策の実効性を担保できる税金**、双方を両立できる税制への修正として、**段階定額制での導入を検討。**

宿泊税導入に関する町の方針②

2. 段階定額制の区分及び税額について

当初案	変更案										
・定率制: 宿泊料金の2%	・段階定額制: 一人一泊ごとに下表の税額を適用										
	<table border="1"><thead><tr><th>宿泊料金</th><th>税額</th></tr></thead><tbody><tr><td>~19,999円</td><td>200円</td></tr><tr><td>20,000円~49,999円</td><td>500円</td></tr><tr><td>50,000円~99,999円</td><td>1,000円</td></tr><tr><td>100,000円~</td><td>2,000円</td></tr></tbody></table>	宿泊料金	税額	~19,999円	200円	20,000円~49,999円	500円	50,000円~99,999円	1,000円	100,000円~	2,000円
宿泊料金	税額										
~19,999円	200円										
20,000円~49,999円	500円										
50,000円~99,999円	1,000円										
100,000円~	2,000円										

- ・ **必要な税収の確保**と**宿泊事業者の事務負担**を考慮した段階設定
- ・ **低価格帯宿泊者の負担**は大きく感じるが、享受する行政サービスの受益の程度から**過重な負担ではない**と考えられる。
- ・ 町内には高価格帯の施設も一定数あり、魅力的な観光地として今後の**高品質高価格施設の増加**を税収に反映させること及び**税の負担能力に見合った適正な課税**となるよう、**10万円以上の区分も設定**した。

宿泊税導入に関する町の方針③

3. 導入時期について

◆本町における観光振興の課題には一刻も早く対応すべきものが多い。ゆえに道庁と足並みを揃えることは考えず、従来の方針どおり、**一刻も早い導入を目指す。**

(1) 宿泊税条例案は12月定例会にて上程

(2) 導入時期は令和6年(2024年)11月1日を目指す

◆宿泊税導入までの行程(直近の概要のみ抜粋)

令和5年10月17日 二セコ町議会全員協議会にて政策案件説明

11月 6日 二セコ町観光審議会にて修正案の審議

11月8日～ 修正した条例案のパブリックコメント実施

11月16日 宿泊事業者向け説明会の実施(2回開催)

12月 二セコ町議会定例会へ条例案上程

【条例案可決後の行程】総務大臣協議→総務大臣同意→周知期間→宿泊税導入



(参考) 宿泊税の主な検討経過

宿泊税の主な検討経過

町内での検討協議

◆ 5月の事業者説明会以降も、宿泊事業者との協議は町長や副町長が個別に行った意見交換をはじめ、町内主要ホテル支配人会など、様々な機会を実施。

これらの意見交換を通じて得られた主な意見は以下のとおり。

- ① **定率制、定額制いずれでも事業者にとって負担が増えるのは変わらない。**
- ② **施設ごとに価格帯や客層も異なるので、町内で意見が統一されることは難しい。**
- ③ **いずれにしても宿泊事業者として、観光における課題が喫緊であることや、それらの課題に対応するため、**宿泊税が必要であることは理解している。****
- ④ **だからこそ、事業者としては早く導入を決めてほしい。
(来年のウインターシーズンの予約も入り始めているため)**



参考資料：宿泊税の使途案

現在想定している観光施策とその所要額（年額）

使途方針	使途事業	事業費概算	観光振興ビジョン 紐づけ	
			目指すべき地域の姿	基本戦略
地域内交通の充実	循環バス運行（増便・増系統、夏季運行等） 空港連絡バス運行 デマンドバス強化、DX化等	11,250万円 (45%)	・高品質・高付加価値の国際リゾート ・町民が誇れる国際リゾート	・観光客の多様な価値観への対応と受け入れ環境の整備 ・観光によって町民生活の質を高める
宿泊事業者の地球環境負荷の低減を促進・支援	（仮称）宿泊税施設環境負荷低減対策事業補助金等 （例）省エネルギー、再生可能エネルギーの導入、廃プラスチック、排水浄化等支援	5,000万円 (20%)	・成熟した通年型の国際リゾート ・町民が誇れる国際リゾート	・観光客の多様な価値観への対応と受け入れ環境の整備 ・観光によって町民生活の質を高める ・観光産業の安定的な経済活動と地域貢献
観光協会組織強化、観光人材育成、観光DX化推進	DMC強化推進事業、人材育成・確保事業、観光案内DXの推進、持続可能な観光プラットフォーム	3,750万円 (15%)	・成熟した通年型の国際リゾート ・高品質・高付加価値の国際リゾート ・町民が誇れる国際リゾート	・観光客の多様な価値観への対応と受け入れ環境の整備 ・観光によって町民生活の質を高める ・観光産業の安定的な経済活動と地域貢献
景観・環境保全対策	景観や環境保全の取り組み、アドベンチャータラベル（フットパスや自然体験）等充実 （例）着地型旅行の充実 ニセコルールの持続化等	2,500万円 (10%)	・成熟した通年型の国際リゾート	・観光客の多様な価値観への対応と受け入れ環境の整備
有事への備え	災害・パンデミック対応等持続化基金積立・運用制度	1,250万円 (5%)	・成熟した通年型の国際リゾート	・観光客の多様な価値観への対応と受け入れ環境の整備
特別徴収義務者の事務負担への支援	宿泊税事務処理促進交付金	1,250万円 (5%)		
事業費概算合計		約2.5億円		